

# 款11 公債費

項1 公債費

目1 元金

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
5,633,745,000円	5,633,744,786円		214円

〔地方債償還金〕 5,633,744,786円

目2 利子

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
4,125,269,000円	3,935,062,059円		190,206,941円

〔地方債利子〕 3,896,961,743円

〔一時借入金利子〕 38,100,316円

目3 公債諸費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
15,103,000円	7,848,056円		7,254,944円

〔登録等手数料〕 7,848,056円

長期債については、前年度末未償還元金99,938,335千円に対する償還元金 5,633,744,786円、利子 3,896,961,743円を支出し、一時借入金に対して、利子38,100,316円を支出しました。

また、平成10年5月29日発行の登録債(7,947,400千円)にかかる引受手数料(発行額の0.07875/100)6,258,576円及び登録手数料(発行額の0.02/100)1,589,480円をそれぞれ支出しました。

なお、財政構造の弾力性を判断する指標として、普通会計において、公債費比率(標準財政規模等に対する公債費充当一般財源等の比率)、公債費負担比率(一般財源総額に対する公債費充当一般財源の比率)がありますが、これらの比率が高くなることは、財政硬直化傾向を示すものです。下記の推移のとおり硬直化が進展しています。

年 度	63	元	2	3	4	5	6	7	8	9	10
公債費比率(%)	13.5	12.0	12.9	12.9	12.8	12.5	12.6	12.5	12.9	13.6	14.4
公債費負担比率(%)	12.6	12.0	11.7	11.5	11.6	11.6	11.7	11.7	12.2	13.6	14.9

# 款12 予備費

項1 予備費

目1 予備費

予 算 現 額	支 出 済 額	翌 年 度 繰 越 額	不 用 額
17,633,000円	0円		17,633,000円

○充用状況

充 用 科 目	充 用 内 容	充 用 額
(款)災害復旧費(項)農林水産施設災害復旧費	農業用施設災害復旧費	12,367,000円